

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和5年12月22日

協議会名:	土佐清水市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>土佐清水市は、四国の最西端に位置し、首都圏から最も時間的距離の遠い市と言われている。人口は、ピーク時の昭和33年には33,000人(住基)を超えていたが、令和2年度の国勢調査における人口は12,388人にまで減少している。高齢化により運転免許証返納者も多く居住しているため、地域住民の移動手段の確保が課題となっている。このことから、交通空白地域の解消や、買い物、通院等のための公共交通を維持・確保することを目的として、デマンド交通を運行している。</p> <p>今後、ますます高齢化が進み、高齢者の運転免許証の返納も進むことが予測されており、市街地へさまざまな機能が集約される中、移動手段に困る住民が増え、これまで以上に公共交通の重要性が高まると考えられる。引き続き移動手段としての公共交通を維持・確保していくために、デマンド運送や路線バスなどの公共交通網を改善しつつ整えていくことによって、地域住民がより安心して、快適に生活できるように努めていく。</p>